

# 平成 29 年度事業報告書

平成 30 年 6 月

一般財団法人 出版文化産業振興財団

表 2

## 目 次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 平成 29 年度事業報告 .....       | 3  |
| 平成 29 年度収支報告書及び財産目録..... | 36 |
| 平成 30 年度事業計画並びに予算.....   | 51 |
| 定款.....                  | 59 |



# 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

一般財団法人 出版文化産業振興財団

## <総務関係>

### 1. 理事会・評議員会の開催

#### 第 113 回理事会

月日：6月9日 場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 28 年度事業報告並びに決算案、監査報告」

第 2 号議案 「平成 29 年度事業進捗状況」

第 3 号議案 「第 65・66 回評議員会の開催について」

#### 第 65 回評議員会

月日：6月23日 場所：山の上ホテル

議題：第 1 号議案 「平成 28 年度事業報告並びに決算案、監査報告」

第 2 号議案 「平成 29 年度事業進捗状況」

第 3 号議案 「役員の一部交代について」

◆磯田 肇 理事 → 高田 聡 理事（協和出版販売社長）

◆小泉公二 評議員 → 小林 毅 評議員（NHK 出版常務）

#### 第 66 回評議員会並びに第 114 回理事会

月日：11月29日 場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 29 年度上期事業報告並びに収支報告」

第 2 号議案 「平成 29 年度下期事業について」

第 3 号議案 「平成 30 年度子どもゆめ基金助成申請について」

第 4 号議案 「役員並びに評議員の一部交代について」

◆荻野善之 理事 → 矢崎謙三 理事（主婦の友社社長）

<退任> 松田 宏 評議員（新潮社顧問）

<新任> 春井宏之 評議員（日書連理事、愛知県）

#### 第 67 回評議員会並びに第 115 回理事会

月日：3月15日 場所：日本出版クラブ会館

議題：第 1 号議案 「平成 29 年度事業報告並びに決算見通し」

第 2 号議案 「平成 30 年度事業計画並びに収支予算案」

ご報告 「評議員並びに監事の退任」

<退任> 鈴木一則 評議員（日本出版販売マーケティング本部マネージャー）

<ご逝去> 濱田博信 監事（日本図書普及前社長）

（以上、役職は当時）

# 事業報告

## 1. 生涯学習事業

### ①第25期「JPIC 読書アドバイザー養成講座」開講



読書を通じた生涯学習・読書活動の推進のため、随時カリキュラムを更新し、常に「本」「読書」の魅力を掘り下げる多彩な講座内容を提供しています。

平成29年度も引き続き、監修にライターの永江朗氏を迎えました。執筆・講師陣には現在第一線で活躍されている方々にご協力いただきました。また、装丁実習などのオプションツアーは、いずれも定員以上の申込があり、受講生の期待の高さがうかがえました。

平成29年8月から30年3月まで、8ヶ月にわたるレポート作成とスクリーニングを経て、3月19日に行われた修了式では、作家の石田衣良氏の記念講演（聞き手：永江氏）が行われ、「読書と私」と題して、読書の魅力や自身の読書体験についてお話いただきました。修了式では、日本書店商業組合連合会、船坂良雄会長から激励の祝辞を賜りました。

第25期の修了生は84名です。新たなJPIC読書アドバイザーが誕生し、修了生は累計約2,400名となりました。（受講料：一般58,000円 JPIC賛助会員53,000円）



グループディスカッションで本について語り合う受講生



オプションツアーの国立国会図書館

＜スクーリング スケジュール一覧＞

| 講座       | 日程                         | カリキュラム  | 講師                                   |
|----------|----------------------------|---|--------------------------------------|
| スクーリング①  | 平成 29 年<br>8 月 25 日<br>(金) | 開講式<br>総 論<br>JPIC 概要<br>開講記念講演<br>アドバイザー活動紹介       | 永江 朗<br>中泉 淳<br>沼野充義<br>原亜矢子<br>松下 浩 |
| スクーリング②  | 8 月 26 日 (土)               | グループディスカッション<br>出版流通<br>読書の歴史                       | 永江 朗<br>津野海太郎                        |
| オプションツアー | 8 月 27 日 (日)               | 見学会 (ブックハウス神保町・印刷博物館・国際子ども図書館)                      |                                      |
| オプションツアー | 11 月 3 日 (金)               | 見学会 (森岡書店・LIXIL・教文館)<br>紙芝居講座 (童心社)<br>国語辞典ができるまで   | 永江 朗<br>橋口英二郎<br>飯間浩明                |
| スクーリング③  | 11 月 4 日 (土)               | 本の情報<br>印刷<br>雑誌編集                                  | 永江 朗<br>中西秀彦<br>北脇朝子                 |
| スクーリング④  | 11 月 5 日 (日)               | 古本屋の棚から見た読書術<br>書評の読み方書き方<br>本のつくりや装丁について           | 岡崎武志<br>豊崎由美<br>岡本幸治                 |
| オプションツアー | 平成 30 年<br>2 月 2 日 (金)     | 見学会 (国会図書館・日本出版販売)<br>装丁実習<br>書評講座 (※2月3日)          | 岡本幸治<br>豊崎由美                         |
| スクーリング⑤  | 2 月 3 日 (土)                | イベント企画<br>書店、本の町づくり                                 | 内沼晋太郎<br>南陀綾綾繁<br>落合 博<br>佐藤雄一       |
| スクーリング⑥  | 2 月 4 日 (日)                | グループディスカッション<br>古書<br>図書館の世界                        | 樽見 博<br>大串夏身                         |
| オプションツアー | 3 月 17 日 (土)               | 見学会 (山陽堂&クレヨンハウス&古書日月堂)<br>読書会ファシリテーター体験会<br>古書店ツアー | 永江 朗<br>中村 謙<br>細井 聖<br>岡崎武志         |
| スクーリング⑦  | 3 月 18 日 (日)               | 発達と読書<br>電子書籍<br>グループディスカッション                       | 佐々木宏子<br>植村八潮                        |
| スクーリング⑧  | 3 月 19 日 (月)               | 文字・活字文化の振興策<br>まとめ<br>記念講演<br>修了式、懇親会               | 肥田美代子<br>永江 朗<br>石田衣良                |

※スクーリング毎に 10～20 人ずつ「本のはなし」(実習)と「レポートについての説明」(永江朗氏による)を実施。

<第 25 期受講生 属性一覧>

| 男女計 | 男性 | 女性 |
|-----|----|----|
| 100 | 16 | 84 |

| 年代別 | 10代 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 100 | 3   | 8   | 20  | 24  | 33  | 11  | 1   |

| 地域別計 | 北海道 | 東北 | 関東 | 信越 | 北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 |
|------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 100  | 1   | 5  | 58 | 6  | 0  | 11 | 7  | 4  | 1  | 6  | 1  |

| 職業別 | 図書館 | 書店  | 出版社 | 出版関係 | 販売会社 | 公務員 |
|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|
|     | 24  | 5   | 5   | 1    | 2    | 7   |
| 100 | 主婦  | 自営業 | 教員  | 学生   | 会社員  | その他 |
|     | 14  | 2   | 9   | 4    | 15   | 12  |

## ②「JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)」の活動支援

平成 5 年より開講している「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了生は、平成 29 年度末で約 2,400 名となりました。修了生は自主運営組織「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」を組織して、精力的に活動しています。

JRAC の主な活動としては、自主グループでの「学習会の開催」、「JRAC 通信の発行」「会員用ホームページでの情報交換」など、多岐にわたります。また全国には、身近な会員のつながりを活かす地域支部があり、現在 11 支部となりました。

JPIC としてもさらに JRAC の活動機会を広げるため、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」での読みきかせ講義の講師、講談社「全国訪問おはなし隊」や「スミセイおはなしひろば」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、各種団体からの講師派遣依頼や問い合わせにも対応し、おはなし会の読み手も依頼しています。

また、「この本読んで！」では毎号、JRAC 会員がおはなし会プログラムや新刊紹介などを担当し、読者から人気のコーナーとなっています。(JRAC 会員：577 名、29 年度末現在)

## ③各種読書講習会

### JPIC 読みきかせサポーター講習会

読みきかせボランティアの育成を目的として、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」を平成 11 年より開催しています。絵本作家の講演と、JPIC 読書アドバイザーによる実技講習で、すぐ活動に活かせる講習会と好評。リピーターも多く参加しています。平成 23 年度より一般社団法人生命保



険協会の協賛をいただき、一層内容を充実して展開しています。

(実施：10ヶ所 参加者：1,321名、参加費：1,000円)

■協賛：一般社団法人生命保険協会

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

|     | 日程     | 開催地    | 会場                          | 特別講師    | 申込    | 参加    |
|-----|--------|--------|-----------------------------|---------|-------|-------|
| 1   | 7月22日  | 東京都中央区 | ビジョンセンター東京                  | とよたかずひこ | 264   | 201   |
| 2   | 7月29日  | 北海道札幌市 | 札幌国際ビル                      | 山口マオ    | 147   | 135   |
| 3   | 9月30日  | 鳥取県米子市 | 国際ファミリープラザ                  | 山口マオ    | 83    | 77    |
| 4   | 10月14日 | 兵庫県神戸市 | 三宮研修センター                    | ひろかわさえこ | 206   | 157   |
| 5   | 10月21日 | 秋田県秋田市 | 秋田県JAビル                     | 高島 純    | 81    | 72    |
| 6   | 10月28日 | 長野県長野市 | JA長野県ビル                     | 浜田桂子    | 124   | 106   |
| 7   | 11月23日 | 岐阜県岐阜市 | ワークプラザ岐阜                    | 大友 剛    | 196   | 158   |
| 8   | 2月10日  | 福岡県福岡市 | 天神クリスタルビル                   | ひろかわさえこ | 160   | 126   |
| 9   | 2月18日  | 広島県広島市 | TKP ガーデンシティ<br>PREMIUM 広島駅前 | 長野ヒデ子   | 187   | 153   |
| 10  | 3月3日   | 大分県大分市 | 全労済ソレイユ                     | いとうひろし  | 152   | 136   |
| 合 計 |        |        |                             |         | 1,600 | 1,321 |

## 読みきかせサポーター実践講座～グループワーク編

21年度から、読みきかせ活動の経験者を対象にスキルアップのための講座を開催しています。講義では子どもの読書推進の現状などを幅広く学び、地域の読書推進活動の核となる人材を育成するための講座です。26年度から、グループワーク編として、より参加者間の交流を図る内容に変わりました。また、紙芝居の魅力を学べる紙芝居



講座（協力：童心社）も好評です。29年度は、全国10会場で開催。

(実施：10会場、参加者：1,154名、参加費1,000円)

■協賛：一般社団法人生命保険協会

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

|     | 日付     | 地区      | 会場          | 特別講師  | 申込    | 参加    |
|-----|--------|---------|-------------|-------|-------|-------|
| 1   | 9月9日   | 富山県富山市  | 富山県民会館      | 佐々木宏子 | 79    | 70    |
| 2   | 9月16日  | 山形県山形市  | 山形ビッグウイング   | 藤田浩子  | 108   | 92    |
| 3   | 10月7日  | 宮城県仙台市  | ハーネル仙台      | 阿部 恵  | 100   | 95    |
| 4   | 11月11日 | 愛知県名古屋市 | 名古屋国際会議場    | 佐々木宏子 | 123   | 95    |
| 5   | 11月18日 | 神奈川県横浜市 | 横浜ランドマークタワー | 藤田浩子  | 316   | 216   |
| 6   | 12月3日  | 千葉県千葉市  | クロス・ウェーブ幕張  | 村中李衣  | 158   | 123   |
| 7   | 12月9日  | 岡山県岡山市  | 岡山国際交流会館    | 藤田浩子  | 159   | 135   |
| 8   | 12月18日 | 宮城県宮崎市  | JA・AZM ホール  | 阿部 恵  | 83    | 78    |
| 9   | 1月27日  | 大阪府大阪市  | 大阪国際会議場     | 阿部 恵  | 210   | 142   |
| 10  | 2月24日  | 三重県津市   | 三重県勤労者福祉会館  | 藤田浩子  | 140   | 108   |
| 合 計 |        |         |             |       | 1,476 | 1,154 |

平成29年度末で「サポーター講習会」は累計453回、延べ参加者43,794名となりました（「JPIC読みきかせサポーター講習会」、「読みきかせサポーター実践講座～グループワーク編」のほか過去開催の「読書サポーター講習会」、「子どもの本講習会」を含みます）。

## 作者と語ろう！

21年度から始まった中高生を中心とした10代向けの読書会は、人気の作家の一冊の本について意見を交換し合い、作品への理解を深め、読書の幅を広げることを目的として開催しています。

二部構成で、第一部は課題図書を中心に、自由に本の話をする読書会、第二部は、作家の講義と質疑応答としています。毎回、作家との会話を楽しみにしている参加者が多く、熱心にメモを取り、質問をする様子が見られました。



米澤穂信さんを囲んで

■共催：朝日新聞社

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

|     | 日程     | 開催地  | 会場名      | 作家   | 申込者数 | 参加者数 |
|-----|--------|------|----------|------|------|------|
| 1   | 7月9日   | 名古屋市 | クロッシュブラン | 米澤穂信 | 87   | 69   |
| 2   | 11月26日 | 仙台市  | テラスエル    | 和田 竜 | 25   | 20   |
| 3   | 2月12日  | 千代田区 | ワテラスコモン  | 森 達也 | 67   | 45   |
| 合 計 |        |      |          |      | 179  | 134  |

## 10代から始めるリベラルアーツ

29年度から始まった当シリーズでは、主に中学生から大学生を対象として、これからの時代に必要とされる「教養」をテーマに3回の講演会を行いました。各回の登壇者は、参加者に意見を求めながら議論を深めると同時に、読書の重要性についても伝えました。質疑応答の時間にはたくさんの手が挙がり、若い参加者の積極的な姿勢が印象的でした。

(※講演会の様子は動画配信もしています)



若者たちに熱く語る茂木健一郎さん

■子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）助成活動

|     | 日程     | 開催地  | 会場名     | ゲスト   | 申込者数 | 参加者数 |
|-----|--------|------|---------|-------|------|------|
| 1   | 7月16日  | 千代田区 | ワテラスコモン | 茂木健一郎 | 204  | 125  |
| 2   | 10月15日 | 千代田区 | ワテラスコモン | 佐々木紀彦 | 143  | 87   |
| 3   | 2月25日  | 千代田区 | ワテラスコモン | 山崎 亮  | 159  | 115  |
| 合 計 |        |      |         |       | 506  | 327  |

## ④さまざまな層への読書アプローチ

### 「辞書を読む」プロジェクト

25年度より「辞書・日本語の魅力」を積極的に発信する「辞書を読む」プロジェクトをスタートさせ、店頭活性化、読書推進へとつなげています。

第6回目となる書店店頭での「辞書を読む」ブックフェアでは、辞書出版社を中心とした出版社12社の協賛、取次会社の協力のもと、全国書店でフェアを開催いたしました。昨年に引き続き、特別協力店、一般店という2つの形



態を設け、各書店の希望に合わせた開催を可能にしました。拡材も簡易的な一般店用、配布拡材のある特別協力店用と内容を分けて作成。辞書ごとの違いがよくわかると、書店から好評でした。



「辞書引き学習」の体験（札幌市会場）

連動企画としては、昨年に引き続き、書店を対象とした「飾りつけコンクール」を実施し、同時企画として SNS を使用した「おもしろ日本語をさがせ！フォトコンテスト」を開催しました。また、子どもゆめ基金助成事業として全国で関連イベントを開催しました。

- 協賛：朝倉書店、岩波書店、旺文社、KADOKAWA、学研プラス、三省堂、集英社、小学館、大修館書店、日本漢字能力検定協会、ベネッセコーポレーション、光文社

- 特別協賛：大日本印刷

|   | 日程     | 開催地  | 会場名       | 講師、登壇 | 参加者数 |
|---|--------|------|-----------|-------|------|
| 1 | 5月3日   | 相模原市 | アリオホール    | 深谷圭助  | 90名  |
| 2 | 11月3日  | 千代田区 | 明治大学紫紺館   | 飯間浩明  | 86名  |
| 3 | 11月26日 | 府中市  | ルミエール府中   | 神永暁   | 365名 |
| 4 | 12月24日 | 札幌市  | 札幌市教育文化会館 | 深谷圭助  | 128名 |
| 5 | 3月25日  | 墨田区  | KFC ホール   | 金田一秀穂 | 216名 |

※府中市、墨田区会場は東京都教育委員会後援、札幌市会場は札幌市教育委員会後援にて開催。

## 2. 調査研究事業

「JAPAN LIBRARY」事業の一環として実施。

※P.21 ⑥内閣府 国際広報「JAPAN LIBRARY」への協力をご参照ください。

## 3. 情報提供事業

### 「JPIC NEWS LETTER」の発行

賛助会員の皆様には毎月1回、財団事業の報告のため「JPIC NEWS LETTER」を発行しています。掲載内容についてのお問い合わせ、財団運営に対するアドバイスをいただくなど財団事業へ反映させています。29年度中に9号を発行し、通巻194号となりました。



## JPIC ホームページ

財団事業の活動を幅広く紹介し、活動スケジュールなどをいち早く提供するため平成 10 年 2 月よりホームページを公開しています (<http://www.jpic.or.jp/>)。

特に 4、5 月の訪問数が多く、年度当初に公開する「JPIC 読書アドバイザー養成講座」、「JPIC 読みきかせサポーター講習会」など講習会予定をホームページで確認する方が増えています。

「上野の森親子フェスタ」や「書店大商談会」などの大きなイベントにおいては、開催に向けて随時情報を更新して、参加者へアピールをしています。

また、講習会・イベントの参加申込ツールとして web との連動が好調です。web 申込者と希望者には「JPIC メールマガジン」を配信し、全国のボランティアや本に関心のある方々に講習会やイベント情報等を随時発信しています。(29 年度末 メールマガジン読者：13,593 名)



## 季刊誌『この本読んで！』の発行

JPIC の読書推進運動への協力者との情報交換・情報提供のため、季刊誌「この本読んで！」を平成 13 年 11 月に創刊（事業協力：博報堂）。29 年度末までに 66 号を発行しました。

絵本や読みきかせ活動の情報を中心に、〈JPIC 読書アドバイザー〉選・おはなし会プログラムや毎号 100 冊の新刊絵本の紹介など、おはなし会に役立つ多彩な内容を見やすいカラー誌面で構成しています。人気の作家のエッセイや、読者から反響の多い発達障害についての連載も掲載中です。



63号



64号



65号



66号

|      |   |  |
|------|---|--|
| 発行形態 | 発行：年4回（5月、8月、11月、2月） 形態：A4変形・88ページ                  |  |
| 掲載記事 | 63号<br>2017年夏号                                      | 特集：不思議がいっぱい科学絵本 / 100%ORANGE の10冊<br>こんにちは！絵本作家さん 松岡達英<br>表紙・描きおろし絵本 片山 健  |
|      | 64号<br>2017年秋号                                      | 特集：みんな大好き のりものえほん / 古典芸能&古典文学の絵本<br>こんにちは！絵本作家さん 西巻茅子<br>表紙・描きおろし絵本 鈴木のりたけ |
|      | 65号<br>2017年冬号                                      | 特集：ヴァージニア・リー・バートンの世界 / アフリカ絵本<br>こんにちは！絵本作家さん いとうひろし<br>表紙・描きおろし絵本 おくはらゆめ  |
|      | 66号<br>2018年春号                                      | 特集：いわさきちひろ 生誕100年 / 未来に残したい絵本2017<br>こんにちは！絵本作家さん ミロコマチコ<br>表紙 いわさきちひろ     |
| 購読料  | ・定期購読（4冊）：4,320円（送料無料で税込）<br>・バックナンバー：1,200円（送料・税込） |  |

56号からは、メディアパルに発売代行を委託し、書店でも販売してより多くの読者の手元に届けられるようにしています。

読書ボランティアの購読とともに、公共図書館・学校図書館からの購読が多く、9,500部発行しています。

#### 4. 交流協力事業

##### ①地域読書環境整備事業

書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」で、自治体のモデル読書施設開設・運営に協力しています。

これまでの設置は、5市町村で、大分県耶馬溪町「わかば」（平成4年5月開設・平成20年3月31日閉店）、岩手県大船渡市「ブックワールド椿」（平成4年10月開設・平成23年3月閉店、開設時は三陸町）、北海道礼文町「Book 愛ランドれぶん」（平成5年10月開設）、福島県飯舘村「ほんの森 いいたて」（平成7年2月開設、平成23年6月15日休業）、長野県東御市「ブック童夢みまき」（平成8年7月開設、開設時は北御牧村・市町村合併により平成23年度で閉店）です。北海道礼文町の「Book 愛ランドれぶん」は、平成25年10月に開設20周年を迎えました。

また、30年度、和歌山県有田川町が独自の読みきかせボランティア養成講座を開講するにあたり、助言と企画立案をJPICが行いました。有田川町にて、保育士やボランティア活動をされている方々と意見交換会を、29年11月、30年2月と2回開催。町民のニーズと町が育成したい人物像のすり合わせをはかりながら、講座の詳細をつめていきました。こ

の講座は有田川町絵本よみきかせ隊・絵本コンシェルジュ養成講座として平成30年6月より開講します。

JPICは引き続き、読書環境づくりに協力しています。

## ②東淀川区絵本読み聞かせ事業

大阪市東淀川区からの受託事業として、25年度から開始し、5年目を迎えました。当事業では、大阪府書店商業組合とおはなしボランティア「とことこ」・モダンブックス・JPICの4者と東淀川区が協働し、地域における子どもたちの読み聞かせ体験の機会を数多く作り、継続させることにより、家庭での読み聞かせの定着と、親子のふれあいの場を増やすことを目的としています。

29年度は、①登録ボランティアの派遣、②区民からの寄贈絵本の管理・運用（「絵本バンク絵本展」など）、③地域の主体的な読み聞かせ活動の促進、④主催イベントの実施、⑤区内保育施設等と連携した「ざぶとん読み\*」の普及などに力を入れました。

平成30年2月25日（日）には、「第5回 東淀川えほんまつり」を開催しました。絵本作家 香川元太郎さんによるワークショップでは、絵本の中の迷路やかくし絵で遊び、本の楽しさを親子に体験してもらいました。近畿地区で活躍する講師によるわらべうたや読み聞かせの時間、絵本展、区内子育て支援施設の活動報告などを行い、区の内外から多くの来場者が、絵本の世界を楽しみました。

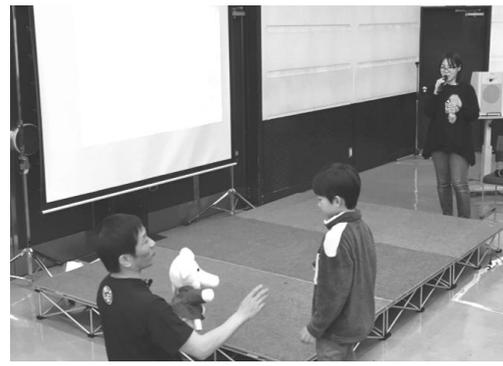
\*ざぶとん読み=保育施設等のお迎えの時間、保護者の膝の上で1冊の絵本の読み聞かせを行うこと。

|   | 日程     | イベント   | 会場        | 参加者数   |
|---|--------|--|-----------|--------|
| 1 | 6月16日  | シニアのための読み聞かせ講座   | 区役所       | 34名    |
| 2 | 7月29日  | 親子向け絵本読み聞かせ講座  | 区役所       | 親子35名  |
| 3 | 8月22日  | 読み聞かせ活動交流会   | 区役所       | 16名    |
| 4 | 9月24日  | わらべうた講座  | 小松地域      | 親子57名  |
| 5 | 10月3日  | ざぶとん読み研修   | 区役所       | 18名    |
| 6 | 11月16日 | わらべうた講座  | 淡路子育てサロン  | 親子41名  |
| 7 | 2月25日  | 第5回東淀川えほんまつり<br>香川元太郎さんワークショップ<br>岩出景子さん・手あそび<br>絵本展ほか | 区民ホール     | 延べ420名 |
| 8 | 3月9日   | わらべうた講座  | 東淡路子育てサロン | 親子20名  |

- 登録ボランティア数…63名
- ボランティア派遣回数…85回 / 子ども2,663名、大人2,901名参加（延べ数）
- ボランティア向け勉強会…5回、47名参加
- 絵本バンク総数…1,447冊 / 貸出13回、455冊 / 設置14回、270冊
- 区内各地域でのミニ絵本展…12回、423名参加



保育施設でのざぶとん読み 普及活動



香川元太郎さん（手前）による迷路絵本ワークショップ

### ③「上野の森 親子フェスタ 2017」の開催

平成 29 年 5 月 3 日～5 日、台東区・上野恩賜公園にて「上野の森 親子フェスタ 2017」を開催いたしました。今回は 3 日間とも晴天に恵まれたこともあり、例年以上に多くの来場者が会場を訪れ、お目当ての本を探したり、会場内のイベントや周辺施設で行われた講演会を楽しんだりする姿が各所で見られました。

■主催：子どもの読書推進会議

日本児童図書出版協会

一般財団法人出版文化産業振興財団

■後援：国立国会図書館、経済産業省、厚生労働省、文部科学省、

国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）、東京都教育委員会、台東区、

国際子ども図書館を考える全国連絡会、公益社団法人全国学校図書館協議会、

公益社団法人読書推進運動協議会、社団法人日本国際児童図書評議会、

一般社団法人日本雑誌協会、一般財団法人日本児童教育振興財団、

一般社団法人日本児童出版美術家連盟、一般社団法人日本児童文学者協会、

一般社団法人日本児童文芸家協会、一般社団法人日本出版取次協会、

一般社団法人日本書籍出版協会、日本書店商業組合連合会、

公益社団法人日本図書館協会、日本図書普及株式会社、文化産業信用組合、

公益財団法人文字・活字文化推進機構、ヤングアダルト出版会、読売新聞社

■協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会

■協賛：Ario、ALSOK、あんふぁに、公益財団法人住友生命健康財団、

図書印刷株式会社

「子どもブックフェスティバル」は、76 社の出展、88 社の出品があり、7,105 アイテム、57,000 冊を超える絵本・児童書が勢揃いしました。会場内には、イベントやサイン会、作家団体によるブースも設けられ、多くの作家が訪れました。サイン会やおはなし会、似顔絵コーナー、手作りワークショップなどがおこなわれ、来場親子と楽しい時間を過ごして

いました。

講演会も3日間合計7つのプログラムを開催し、多くの参加者が人気作家の楽しいトークに熱心に聞き入り、パフォーマンスを楽しんでいました。

「上野の森 親子フェスタ 2017」の売上は、過去最高額の37,025,920円に上り、多くの親子に「本を手渡す」「読書の機会を提供する」という本フェスタの目的を果たせたと考えています。本フェスタの収益の一部は、「大震災出版復興基金」を通じて、東日本大震災と熊本地震の被災地に拠出いたしました。



■ 出展者一覧 71者 (50音順)

|                     |                         |              |               |               |
|---------------------|-------------------------|--------------|---------------|---------------|
| あかね書房               | アリス館                    | いかだ社         | 一声社           | 今人舎           |
| 岩崎書店                | WAVE 出版                 | 絵本塾出版        | 絵本の家          | えほんの杜         |
| 化学同人                | 仮説社                     | 学研プラス        | 金の星社          | くもん出版         |
| クレヨンハウス             | 好学社                     | 廣済堂あかつき      | 恒星社厚生閣        | 佼成出版社         |
| 講談社                 | 交通新聞社                   | 国土社          | 子どもの未来社       | ゴブリン書房        |
| 小峰書店                | さ・え・ら書房                 | 朔北社          | 視覚デザイン<br>研究所 | 集英社           |
| 小学館                 | 少年写真新聞社                 | 新興出版社<br>啓林館 | 新星出版社         | 新日本出版社        |
| 瑞雲舎                 | 鈴木出版                    | 誠文堂新光社       | 世界文化社         | 全国農村教育<br>協会  |
| 大日本絵画               | 大日本図書                   | 玉川大学出版部      | 汐文社           | 童心社           |
| 東洋館出版社              | 徳間書店                    | 西村書店         | 農文協           | のら書店          |
| パイ<br>インター<br>ナショナル | 版元ドットコム<br>有限責任事業<br>組合 | PHP 研究所      | BL 出版         | ひさかた<br>チャイルド |
| 評論社                 | 風濤社                     | 福音館書店        | 復刊ドットコム       | フレーベル館        |
| 文研出版                | 保育社                     | 星の環会         | ポプラ社          | ほるぷ出版         |
| ミキハウス               | 光村教育図書                  | ミネルヴァ書房      | リトル・モア        | 理論社           |
| ロクリン社               |                         |              |               |               |

## ■講演会

| 日        | タイトル   | 出演者                               | 申込数            | 入場数  |
|----------|--|-----------------------------------|----------------|------|
| 3日<br>AM | 「おもしろがると世界がひろがる」<br>協力：くもん出版                                   | 鈴木のりたけさん<br>(絵本作家)                | 424名<br>(167組) | 175名 |
| 3日<br>PM | 講談社刊『鳥辺 探偵ゲームKZ事件ノート』シリーズ<br>「藤本ひとみ先生+住滝良先生トーク&サイン会」<br>協力：講談社 | 藤本ひとみさん (作家)<br>住滝良さん (作家)        | 288名<br>(118組) | 176名 |
| 4日AM     | 『親子で楽しむお話会「恐竜博士こなろう！」』<br>協力：小峰書店                              | 黒川みつひろさん<br>(絵本作家)                | 578名<br>(198組) | 252名 |
| 4日PM     | 「カメいっつプロリ 30周年の歩み」<br>協力：ポプラ社                                  | 原ゆたかさん (作家)                       | 714名<br>(237組) | 230名 |
| 5日AM     | 「サルを知ることとはヒトを知ること！<br>熱帯雨林の妖精・ボノボの生活」<br>協力：図書印刷株式会社           | 伊谷原一さん<br>(京都大学野生動物研究センター教授、理学博士) | 213名<br>(91組)  | 104名 |
| 5日AM     | 対談「人との出会い・絵本の誕生」<br>共催：国立国会図書館国際子ども図書館                         | 内田麟太郎さん (絵本作家)<br>西村繁男さん (絵本作家)   | 611名<br>(265組) | 92名  |
| 5日PM     | 「絵本で元気に」<br>協力：小学館   | 長谷川義史さん (絵本作家)                    | 448名<br>(228組) | 180名 |
| 計        |  |                                   | 1,209名         |      |

## ④「書店大商談会」への協力

9月5日、札幌市・札幌パークホテルにて、第四回「北海道書店大商談会」を開催しました（出展社：115社・115ブース、来場書店人数：219名、商談成立：1016件、21,623,404円）。

前回に引き続き、前日にトーハン会、当日には日販会がそれぞれ北海道総会を開催し、書店・出展社が当商談会に参加しやすい環境を整えました。好評だった「第二回 北海道ゆかりの本大賞（2017）」も開催。事前にノミネート作品を発表



「第二回 北海道ゆかりの本大賞（2017）」授賞式

し、POPとしても使えるチラシを配布。当日、来場書店による投票で決定した大賞受賞作についても、個別にPOPを作成。店頭活性化に役立つ提案をいたしました。

■主催：同実行委員会

■実行委員長：中尾邦幸・マル五中尾書店代表取締役社長 事務局協力：JPIC

10月26日、文京区・東京ドーム・プリズムホールにて、第八回「書店大商談会」を開催しました（出展社：240社・248ブース、来場書店人数：710名、商談成立：3,560件、79,717,839

円)。

前回好評であった「コミック分科会」は、本会とは別に、2月8日講談社にて開催しました(出展社24社、来場書店人数:159名、商談成立:609件、10,199,465円)。開催期を3カ月後に開催したことにより、アニメ化に向けタイミングの良い商談の機会となりました。

■主催:同実行委員会(各販売会社書店会、各販売会社、日本児童図書出版協会、日本書店商業組合連合会、東京都書店商業組合、日本出版取次協会)

■実行委員長:矢幡秀治・真光書店代表取締役社長 事務局協力:JPIC



大盛況のコミック分科会(東京)

関西では11月7日、大阪市・グランフロント大阪にて、「BOOK EXPO 2017 秋の陣 ～響け!書店心～」を開催しました(出展:233社、243ブース、来場書店:1,056名、商談成立:5,279件、101,488,237円)。

七回目を迎える「BOOK EXPO」は、過去最高の出展社数で書店人を迎えました。毎年恒例の著者サイン会やトークイベントのほか、「西日本POP王決定戦」など、普段の店頭で活かせる技を学ぶ展示も充実。また、各ブースや休憩スペースでも熱心な商談が行われ、国内最多の書店人が集う、たいへん盛況な商談会となりました。



活発な商談が行われたBOOK EXPO

■主催:同実行委員会 実行委員長:洞本昌哉・ふたば書房代表取締役 事務局協力:JPIC

## ⑤東日本大震災被災地支援

### ◆福島県飯舘村支援

東京電力福島第一原子力発電所の事故により全村避難をしていた福島県飯舘村に対して、読書環境の充実を目指す支援を続けています。平成29年3月に一部地域を除き避難指示が

解除されましたが、JPIC は引き続き、子どもや若者への支援事業に協力しています。平成 30 年 1 月 8 日に行われた成人式では、帰村環境整備の一環として、新成人に 20 冊の推薦図書から好きな本を選んでもらう「20 歳の 20 冊」が実施され、38 名に本を贈呈しました。

また、新生児に読みきかせ用の絵本をプレゼントする「ほんの森 ファーストブック」事業では、29 年度、47 名に 94 冊の絵本を提供しました。

## 5. 受託事業・業務等

### ①読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて各社が取り組む各事業に対し、「JPIC 読書アドバイザー」「JPIC 読みきかせサポーター」「地元の読書サークル」にボランティア参加の募集を呼びかけ、読みきかせを開催する会場への読み手のコーディネートを行っています。

#### ア) 全国訪問おはなし隊

講談社が創業 90 周年読書推進事業として平成 11 年 7 月よりスタートさせた「全国訪問おはなし隊」は、平成 29 年度 10 巡目を順調に走行しました。全国の保育園、幼稚園、小学校、図書館、公民館、児童館、書店などをキャラバンカーで巡回し、地域の読書ボランティアの協力による絵本の読みきかせを通じて、子どもたちに本との出会いを提供しています。(29 年度：934 会場 累計実績：21,745 会場)

#### イ) おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店読みきかせ会「おはなしマラソン」を平成 11 年 10 月より、全国で開催しています。JPIC では、ボランティアコーディネートの役割を担っています。(29 年度協力 11 店舗、累計実績：703 書店)

#### ウ) 取協読書推進事業「読み聞かせ会」

日本出版取次協会は、平成 12 年秋に創立 50 周年記念行事として「読み聞かせ会の開催」を実施しました。平成 12 年度からの成果を踏まえて本年度も「読書推進」「書店店頭活性化・増売」「第 4 土曜日は、こどもの本の日」の拡充のため、書店における読み聞かせ会を開催しました。(期間：平成 29 年 12 月 16 日～平成 30 年 2 月 4 日の毎週土・日曜日、JPIC コーディネート担当実施書店：49 書店)

## ②「スミセイおはなしひろば」への協力

公益財団法人住友生命健康財団は、平成13年度より、読書を通した子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出会う機会をつくる「スミセイおはなしひろば」を実施しています。

その一環である「おはなしひろばキャラバン」は、希望する保育園・幼稚園に、オリジナル絵本をプレゼントし、大型絵本や紙芝居を交えたおはなし会を届けるものです。読み手に地域の読みきかせサークルをコーディネートしておはなし会を開催。保護者や地域の方のご参加も見られ、家族・地域間のふれあいのきっかけをつくる役割も担っています。

29年度は2地域（9月京阪地区、11月埼玉県越谷市周辺）で、8,499名の園児が参加しました（29年度実績：101施設、累計実績：2,062施設）

## ③朝日新聞社への協力

### ◆「オーサー・ビジット・プロジェクト」

「オーサー・ビジット」は、朝日新聞社の読書推進活動として15年目を迎え、これまでに全国の小・中・高等学校421校の学校へ訪問をいたしました。



原ゆたかさんのビジット 撮影：御堂義乗

子どもたちに人気の作者が教室を訪問し、作者独自のユニークな授業や生徒との会話により、読書意欲を喚起することを目的としています。平成29年度も、前年に引き続きベルマーク運動に参加している学校に費用を一部負担いただくベルマーク版を含め、全国6校に訪問し、子どもたちの笑顔あふれる授業を展開しました。

JPICは事務局として協力し、応募校受付や作家と学校の訪問スケジュール管理・旅程作成などの役割を担っています。

※ベル＝ベルマーク版3回

|    | 訪問日       | 訪問地  | 学校名            | 作家名                |
|----|-----------|------|----------------|--------------------|
| ベル | 9月14日(木)  | 広島県  | 宇部市立黒石中学校      | 尾木直樹(教育評論家)        |
| ベル | 10月11日(水) | 兵庫県  | 兵庫県立姫路聴覚特別支援学校 | コロッケ(タレント)         |
| 1  | 10月25日(水) | 福島県  | 郡山市立郡山第五中学校    | 辻村深月(作家)           |
| ベル | 11月21日(火) | 福岡県  | 北九州市立新道寺小学校    | 長谷川義史(絵本作家)        |
| 2  | 1月18日(木)  | 和歌山県 | 和歌山市立川永小学校     | 原ゆたか<br>(児童書作家・画家) |
| 3  | 1月25日(木)  | 東京都  | 町田市立成瀬中央小学校    | 池上彰(ジャーナリスト)       |

#### ④「第 51 回造本装幀コンクール」への協力

一般社団法人日本書籍出版協会、一般社団法人日本印刷産業連合会が主催する「造本装幀コンクール」は、51 回目を迎えました。

「第 51 回造本装幀コンクール」（募集期間：平成 29 年 3 月 6 日～5 月 26 日）は、131 者 328 作品の応募がありました。7 月 3 日に審査会を行い、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞をはじめとする各賞（全 22 賞）を決定しました。10 月 19 日には、受賞者（出版社・装幀家・印刷・製本会社）を招き、表彰式及び記念パーティーを開催しました。神保町ブックフェスティバル開催期間中（11 月 3 日～5 日）には、開催エリア内にある東京堂ホールにて入賞作品及び全ての出品作品を公開展示しました。

また、入賞作品は、ドイツのライプツィヒで開催される“世界で最も美しい本コンクール”に日本を代表して出品され、500 点を超える世界各国の出品作品の中から、日本印刷産業連合会会長賞を受賞した『くままでのおさらい』（ビーナイス刊）が銀賞を受賞しました。この数年は、日本の入賞が続いており、国内のデザイン・印刷製本技術が海外でも高い評価を得ていることが伺い知れます。



第 51 回造本装幀  
コンクール公式冊子

#### ⑤生命保険協会 読みきかせによる“家族のきずな”推進活動

生命保険協会は、平成 20 年度より、「読みきかせを通じた“家族のきずな”推進活動」を展開し、一般公募による絵本コンテストや施設・団体への絵本寄贈を行ってきました。29 年度は、第四次 3 ヶ年計画の 1 年目として、JPIC 読みきかせ講習会への協賛と読みきかせボランティア団体の支援のため「“家族のきずな”読みきかせ会セット」の頒布を行いました。

#### ⑥内閣府 国際広報「JAPAN LIBRARY」への協力

平成 26 年度に内閣府で開始した JAPAN LIBRARY<日本の魅力発信に資する書籍の翻訳出版事業>に、発行元兼事務局として参画しています。文化のみならず、政治・外交・思想・社会・科学技術・自然科学など幅広い分野における日本の多様なノンフィクション作品を英訳出版し、より深い日



平成 29 年度発行ジャパンライブラリー・シリーズ

本理解の促進を図る事業です。対象書籍は、各界各分野の第一人者である民間有識者 10 名からなる選定委員会にて選ばれます。

29 年度も、NTT アドと合同で事務局として事業の進行を担うとともに、JPIC は版元となり、JAPAN LIBRARY シリーズ第四弾として、3 月 27 日に 11 タイトルを翻訳出版しました。発行書籍は、50 カ国 1,000 カ所以上の大学図書館を中心とした研究機関、公共図書館等へと寄贈しました。

### **29 年度 JPIC 発行書籍**

#### ***Contemporary Japanese Architects: Profiles in Design***

原書：『現代日本建築家列伝 社会といかに関わってきたか』 五十嵐太郎（河出書房新社）

#### ***Designing Japan: A Future Built on Aesthetics***

原書：『日本のデザイン 美意識がつくる未来』 原 研哉（岩波書店）

#### ***Edo Japan Encounters the World: Conversations Between Donald Keene and Shiba Ryotaro***

原書：『世界のなかの日本 十六世紀まで遡って見る』 ドナルド・キーン、司馬遼太郎／対談（新潮社）

#### ***The Japanese Sense of Beauty***

原書：『日本人にとって美しさとは何か』 高階秀爾（筑摩書房）

#### ***Landscape Gardener Ogawa Jihei and His Times: A Profile of Modern Japan***

原書：『庭師 小川治兵衛とその時代』 鈴木博之（東京大学出版会）

#### ***Mixing Work with Pleasure: My Life at Studio Ghibli***

原書：『仕事道楽 新版 スタジオジブリの現場』 鈴木敏夫（岩波書店）

#### ***Mutsu Munemitsu and His Time***

原書：『陸奥宗光とその時代』 岡崎久彦（PHP 研究所）

#### ***The Territory of Japan: Its History and Legal Basis***

原書：『日本の領土』 芹田健太郎（中央公論新社）

#### ***Toward Creation of a New World History***

原書：『新しい世界史へ 地球市民のための構想』 羽田 正（岩波書店）

#### ***Wasan, the Fascination of Traditional Japanese Mathematics***

原書：『夢中になる！江戸の数学』 桜井 進（集英社）

#### ***Words to Live by: Japanese Classics for Our Time***

原書：『いまを生きる知恵』 中野孝次（岩波書店）

上記タイトルと過去3年分を合わせると合計36タイトルとなりました。特に海外の大学から、日本研究を始めたばかりの学生たちが有効活用できると好評です。また、一般読者からの「読みたい」という声に応え、書店での販売も本格的に開始しました。国内外のより多くの読者の手に届くよう、電子書籍版も発行しています。

さらに、当事業で翻訳した以下1タイトルは、大学でのテキスト採用に強い海外の出版社と協力し、発行しました。

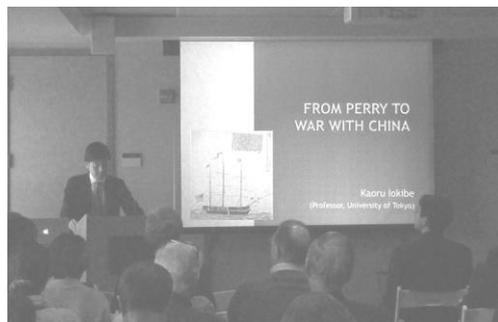
### 29年度海外の出版社からの刊行

#### *Japan's Quest for Stability in Southeast Asia*

Routledge 刊

原書：『「海洋国家」日本の戦後史』 宮城大蔵（筑摩書房）

その他、国内外の学会への出展や著者イベントも積極的に行いました。海外では、6月にニューヨーク・ジェイコブ・ジャヴィッツ・コンベンションセンターで行われたブックエキスポ・アメリカ、同じく6月に香港大学で行われた国際研究学会（ISA）、8月にはポルトガル・リスボン大学で行われたヨーロッパ日本研究協会（EAJS）、9月にノルウェー・オスロ大学で行われた日本資料専門家欧州協会（EAJRS）、3月にワシントンD.C.・ワリオット・ワードマン・パークで開催されたアジア学会（AAS）の年次総会にそれぞれブース出展しました。また、3月には米国2大学（スタンフォード大学・ミシガン大学）にて著者講演会を開催致しました。



スタンフォード大学での著者講演会

国内では、7月に立教大学で行われた日本アジア研究学会（ASCJ）年次研究大会、同じく7月に大学生協杉並会館で行われた大学生協全国書籍部門セミナー、10月には神戸国際会議場で行われた日本国際政治学会の年次研究大会にブース出展しました。また、文部科学省と日本学生支援機構が共催する国費外国人留学生歓迎会の神戸会場（6月）、東京会場（11月）にそれぞれブース出展し、外務省による外国人招へい青年を対象とした「MIRAI Program」（10月、11月）「KAKEHASHI Project」（3月）、そして国際交流基金関西国際センターの日本語教員養成講座（10月、11月、2月）では著者講演イベントを開催しました。

スケジュール1

スケジュール2

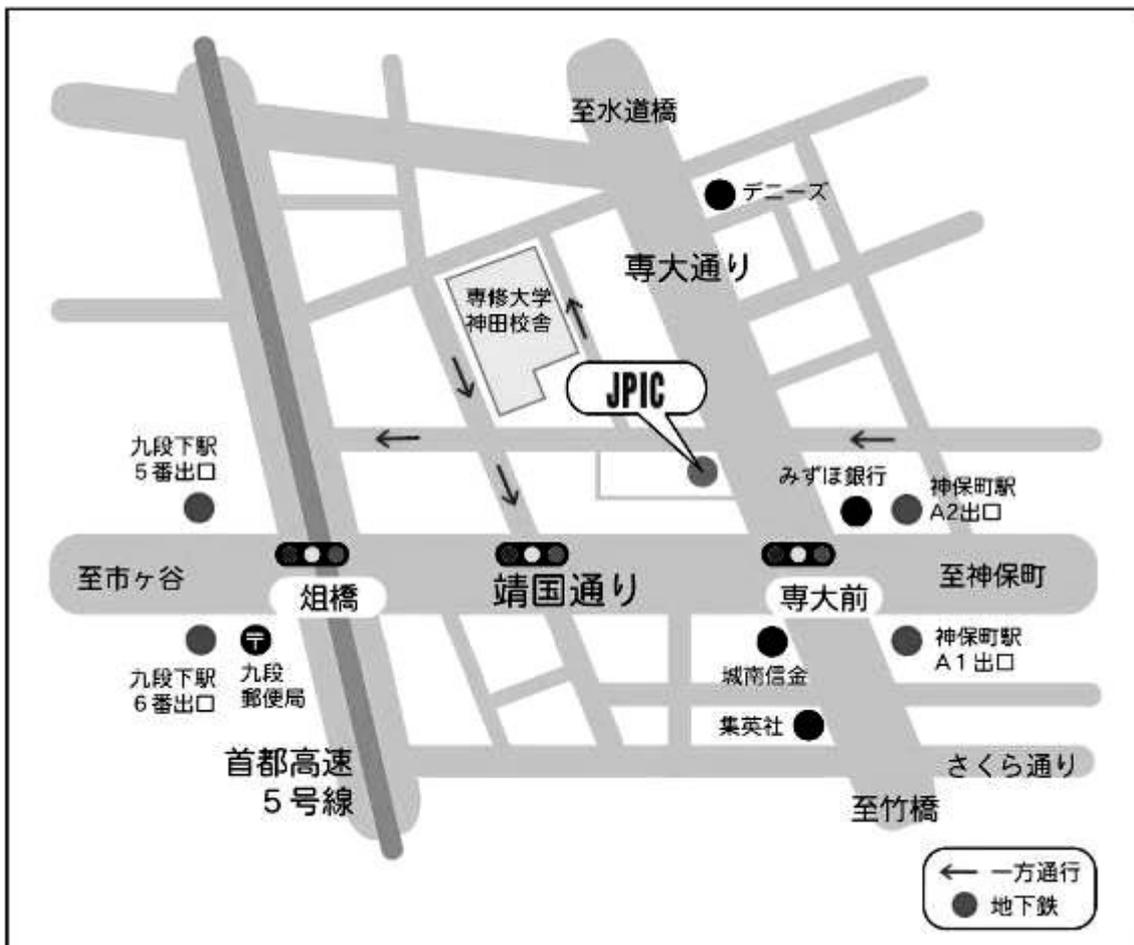
スケジュール3

スケジュール4

スケジュール5

## 財団案内図

- 名 称 一般財団法人出版文化産業振興財団  
■所在地 〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町 3 丁目 12 番地 3 神保町スリービル 8 階  
TEL.03-5211-7282 FAX.03-5211-7285  
<http://www.jpica.or.jp/>



## 交 通

九段下駅 6 番出口 徒歩 5 分 (地下鉄/半蔵門線・東西線 都営/新宿線)

神保町駅 A1 出口 徒歩 2 分 (地下鉄/半蔵門線 都営/新宿線・三田線)

水道橋駅 西出口 徒歩 7 分 (JR/総武線・中央線)

※ 1 階が CVS「ファミリーマート」のビルです。

一般財団法人出版文化産業振興財団 理事・監事

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 理事長  | 肥田美代子（文字・活字文化推進機構理事長）         |
| 副理事長 | 相賀昌宏（日本書籍出版協会理事長、小学館社長）       |
| 副理事長 | 鹿谷史明（日本雑誌協会理事長、ダイヤモンド社会長）     |
| 副理事長 | 平林 彰（日本出版取次協会会長、日本出版販売社長）     |
| 副理事長 | 船坂良雄（日本書店商業組合連合会会長、東京都） ※運営担当 |
| 専務理事 | 小柳貴史                          |
| 常務理事 | 野間省伸（講談社社長）                   |
| 常務理事 | 堀内丸恵（集英社社長）                   |
| 常務理事 | 安西浩和（日本出版販売専務）                |
| 常務理事 | 藤井武彦（トーハン社長）                  |
| 常務理事 | 高井昌史（紀伊國屋書店会長兼社長）             |
| 常務理事 | 西村俊男（日書連副会長、新潟県）              |
| 理事   | 北島義斉（大日本印刷副社長）                |
| 理事   | 中尾光宏（凸版印刷取締役）                 |
| 理事   | 矢崎謙三（主婦の友社社長）                 |
| 理事   | 丹下伸彦（光文社社長）                   |
| 理事   | 古岡秀樹（学研ホールディングス取締役）           |
| 理事   | 松井清人（文藝春秋社長）                  |
| 理事   | 高田 聡（協和出版販売社長）                |
| 理事   | 大竹深夫（大阪屋栗田社長）                 |
| 理事   | 加藤 悟（中央社社長）                   |
| 理事   | 川上浩明（トーハン専務）                  |

理事 渡部正嗣（日教販社長）  
理事 亀井忠雄（三省堂書店社長）  
理事 中川清貴（丸善 CHI ホールディングス社長）  
理事 早嶋 茂（旭屋書店会長）  
理事 藤原 直（日書連副会長、宮城県）  
理事 松信 裕（有隣堂社長）

以上 28 名

監事 桶田大介（弁護士）  
監事 能勢正幸（公認会計士）

以上 2 名

並びは、業態別・個人名50音順

平成 30 年 3 月 31 日現在

一般財団法人出版文化産業振興財団 評議員

秋田 貞美 (秋田書店最高顧問)

石崎 孟 (マガジンハウス社長)

石野 栄一 (明日香出版社社長)

大塚 茂 (世界文化社取締役)

大橋 一弘 (博文館新社社長)

奥村 傳 (ポプラ社相談役)

小林 毅 (NHK出版常務)

小峰 紀雄 (小峰書店社長)

斎藤 健司 (日本書籍出版協会常任理事 読書推進委員会委員長、金の星社社長)

清水 康史 (昭文社取締役)

鈴木 一行 (大修館書店社長)

高杉 昇 (家の光協会代表理事専務)

高納 勝寿 (主婦と生活社社長)

平野 健一 (徳間書店社長)

宮本 哲男 (岩波書店取締役)

山下 直久 (KADOKAWA常務執行役員)

山本 憲央 (中央経済社ホールディングス社長)

出版社：以上 17 名

岩本 幸子 (日本出版販売広報室マネージャー)

大谷 敏夫 (中央社常務)

小野 田裕 (日教販取締役)

加藤 真由美 (トーハン広報室長)

齊藤 貴 (トーハン執行役員)

齊藤 隆巳 (日本雑誌販売社長)

森岡 忠弘（大阪屋栗田執行役員）

三浦 敏（協和出版販売常務取締役）

取次会社：以上8名

江崎 直利（日書連理事、静岡県）

大垣 守弘（大垣書店社長）

小林 洋（日書連理事、東京都）

田江 泰彦（今井書店グループ会長）

春井 宏之（日書連理事、愛知県）

書店：以上5名

石川 博史（公文教育研究会常務）

一般：以上1名

以上31名

並びは、業態別・個人名50音順

平成30年3月31日現在

## 平成 29 年度賛助会員(269 社)

平成 30 年 3 月 31 日現在

### 出版社

あかね書房  
秋田書店  
朝倉書店  
朝日新聞出版  
明日香出版社  
飛鳥新社  
あすなろ書房  
アリス館  
家の光協会  
医学書院  
池田書店  
医歯薬出版  
一声社  
1 万年堂出版  
今人舎  
岩崎書店  
岩波書店  
WAVE 出版  
潮出版社  
榎出版社  
NHK 出版  
エムオン・エンタテインメント  
旺文社  
大泉書店  
宙出版  
オーム社  
オレンジページ  
音楽之友社  
海竜社  
化学同人  
学研ホールディングス  
風間書房  
KADOKAWA  
角川春樹事務所  
金子書房  
河出書房新社  
かんき出版  
協同出版

共立出版  
金の星社  
くもん出版  
研究社  
建帛社  
コアミックス  
好学社  
恒星社厚生閣  
佼成出版社  
講談社  
交通新聞社  
交通タイムス社  
光文社  
小峰書店  
ゴルフダイジェスト社  
さ・え・ら書房  
作品社  
産業図書  
三オブックス  
三省堂  
サンマーク出版  
産経総合研究所経営書院  
CQ 出版  
ジェイ・リサーチ出版  
実業之日本社  
実務教育出版  
じほう  
集英社  
住宅新報社  
出版ワークス  
主婦と生活社  
主婦の友社  
小学館  
祥伝社  
少年画報社  
少年写真新聞社  
昭文社  
神宮館  
新興出版社啓林館

新星出版社  
新潮社  
晋遊舎  
鈴木出版  
スターツ出版  
ステレオサウンド  
すばる舎  
星雲社  
聖教新聞社  
静山社  
青春出版社  
西東社  
成美堂出版  
聖パウロ女子修道会  
誠文堂新光社  
世界思想社教学社  
世界文化社  
セブン&アイ出版  
創元社  
増進堂・受験研究社  
第三文明社  
大修館書店  
大日本図書  
ダイヤモンド社  
大洋図書  
大和出版  
大和書房  
高橋書店  
竹書房  
辰巳出版  
玉川大学出版部  
淡交社  
筑摩書房  
地人書館  
チャイルド本社  
中央経済社ホールディングス  
中央公論新社  
中日新聞社広告局  
汐文社

デアゴスティーニ・ジャパン  
ディスカヴァー・トゥエンティワン  
東京書籍  
東京大学出版会  
東京堂出版  
東京ニュース通信社  
童心社  
東洋経済新報社  
徳間書店  
ドレミ楽譜出版社  
南江堂  
南山堂  
二玄社  
二宮書店  
日本ヴォーグ社  
日本カメラ社  
日本漢字能力検定協会  
日本経済新聞出版社  
日本実業出版社  
日本スポーツ企画出版社  
日本文芸社  
農山漁村文化協会  
白水社  
白泉社  
博文館新社  
博友社  
ぴあ  
PHP 研究所  
ビーエル出版  
ひかりのくに  
ひさかたチャイルド  
日之出出版  
白夜書房  
評論社  
フォレスト出版  
福音館書店  
富山房  
扶桑社  
双葉社

|                 |                |                 |          |
|-----------------|----------------|-----------------|----------|
| ブティック社          | (取次会社 11社)     | <b>一 般</b>      | 以上、269社  |
| プレジデント社         |                | インターネットテクノスフィア  |          |
| フレーベル館          | <b>書 店</b>     | NTTアド           | 出版社 186社 |
| 文英堂             | 旭屋書店           | オー・アイ・エム・センター   | 取次会社 11社 |
| 文化学園文化出版局       | 今井書店グループ       | お茶の水商事          | 書店 11社   |
| ぶんか社            | 大垣書店           | 活字文化推進会議        | 書店組合 18  |
| 文溪堂             | 紀伊國屋書店         | カンダコーポレーション     | 教科書 4    |
| 文芸社             | 金港堂            | 共同印刷            | 一般 35    |
| 文藝春秋            | 三省堂書店          | 共立速記印刷          | 関係団体 4   |
| 文理              | 須原屋            | 近代美術            |          |
| 平凡社             | 八文字屋           | 工藤出版サービス        |          |
| ベースボール・マガジン社    | 丸善CHIホールディングス  | 光和コンピューター       |          |
| ベストセラーズ         | 有隣堂            | 齋藤商店            |          |
| ベネッセコーポレーション    | リプロ            | 出版共同流通          |          |
| ベレ出版            | (書店 11社)       | 生命保険協会          |          |
| 芳文社             |                | 総合教育センター        |          |
| ポプラ社            | <b>書店組合</b>    | 大日本印刷           |          |
| ほるぷ出版           | 北海道書店商業組合      | 太陽印刷工業          |          |
| 毎日新聞社出版局        | 岩手県書店商業組合      | ダイワハイテックス       |          |
| マガジンハウス         | 宮城県書店商業組合      | 手島梱包輸送          |          |
| 三笠書房            | 茨城県書店商業組合      | 天龍運輸            |          |
| みすず書房           | 栃木県書店商業組合      | 電通              |          |
| 光村教育図書          | 群馬県書店商業組合      | 東販自動車           |          |
| ミネルヴァ書房         | 埼玉県書店商業組合      | トーハン従業員組合       |          |
| モーターマガジン社       | 神奈川県書店商業組合     | 凸版印刷            |          |
| 有斐閣             | 愛知県書店商業組合      | 日販コンピュータテクノロジー  |          |
| 吉川弘文館           | 滋賀県書店商業組合      | 日本アド            |          |
| リイド社            | 京都府書店商業組合      | 日本出版販売労働組合      |          |
| リクルートコミュニケーションズ | 大阪府書店商業組合      | 日本図書普及          |          |
| 理論社             | 兵庫県書店商業組合      | 博報堂             |          |
| ワニマガジン社         | 広島県書店商業組合      | 藤川紙業            |          |
| (出版社 186社)      | 愛媛県書店商業組合      | 文化産業信用組合        |          |
| <b>取次会社</b>     | 福岡県書店商業組合      | 三井住友銀行神田法人営業第一部 |          |
| 大阪屋栗田           | 佐賀県書店商業組合      | 三菱東京UFJ銀行神田支社   |          |
| 協和出版販売          | 沖縄県書店商業組合      | 八木書店            |          |
| 三和図書            | (書店組合 18組合)    | りそな銀行九段支店       |          |
| 中央社             |                | (一般 35社)        |          |
| 東京即売            | <b>教科書供給所</b>  | <b>関係団体</b>     |          |
| トーハン            | 北海道教科書供給所      | 出版健康保険組合        |          |
| 日教販             | 群馬県教科書販売       | 日本児童図書出版協会      |          |
| 日本雑誌販売          | 神奈川県教科書販売      | 日本出版取次協会        |          |
| 日本出版販売          | 愛知県教科書印刷商業協同組合 | 日本書店商業組合連合会     |          |
| 日本出版貿易          | (教科書供給 4社)     | (関係団体 4団体)      |          |
| 博文社             |                |                 |          |

## 平成 29 年度収支報告書及び財産目録

## 貸借対照表

## 正味財產增減計算書 1

## 正味財產增減計算書2

### 正味財產增減計算書3

## 財産目録

## 収支計算書1

## 収支計算書2

## 収支計算書3

## 収支計算書4

## 財務諸表に関する注記1

財務諸表に関する注記2、収支計算書に対する注記1

## 公益目的支出計画

## 監查報告書



## 平成 30 年度事業計画並びに予算

## 1. 生涯学習事業

### ①「JPIC 読書アドバイザー養成講座」開講

平成5年のスタート以来、「読書と生涯学習をコーディネートする」人材の育成を目的に毎年開講している。第26期を受講生100名、修了聴講生若干名で開講する。

### ②JRACの活動協力

修了者の自主運営組織である「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」の活動を側面よりサポートする。学習会や読書関連催事の共催も検討する。

### ③絵本・読みきかせ・読書ボランティア・中高生向け 各種読書講習会

「JPIC 読みきかせサポーター講習会」と「JPIC 読みきかせサポーター実践講座」を、計20回を計画。子どもゆめ基金助成事業。

### ④さまざまな層への読書アプローチ

- ・「辞書プロジェクト」として、辞書を切り口とした読書推進事業を関係各社とともに展開。子どもゆめ基金助成事業としてイベントを開催予定。
- ・10代20代学生に読書機会を提供する JPIC YOUTH として、「10代から始めるリベラルアーツ」を（子どもゆめ基金助成事業）を開催予定。
- ・本年より「Live at Bookstore 京都 2018」（子どもゆめ基金助成事業）を開始。京都の書店と協力して、読書会・トークイベントを開催。同時に、参加者へ SNS アカウントへのフォローを呼び掛け、読書コミュニティを形成する。
- ・主に JPIC 読書アドバイザーと協力した新たな読書推進活動の取り組みを検討する。

## 2. 調査研究事業

### ①書店活性化・デジタル化研究

関係省庁・団体などとの協力で、JPIC としての役割を積極的に果たす。また、消費税増税対応の販売促進策等を提案する。

### ②関係機関や在日外国機関との協力事業

消費税軽減税率獲得への取り組みや、対諸外国向けの出版活動の展開について検証、実践を目指す。

## 3. 情報提供事業

### ①JPIC NEWS LETTER

賛助会員をはじめ、関係各方面に JPIC の活動を案内・報告することを目的に、月1回程度発行。

### ②ホームページ運用、メールマガジン発行

読書関連催事等の情報提供ツールとして活用。メールアドレス管理「読書ボランティア」14,000件を目標に促進。メルマガ会員を増加させ、他事業でのDM費の一層の減少を図る。

### ③「この本読んで！」発行

平成13年11月創刊、季刊（第67～70号、5・8・11・2月末）、9,500部発行。

## 4. 交流協力事業

### ①地域読書環境整備事業

福島県飯舘村、和歌山県有田川町等での協力事業を展開する。

また、「読書教育」「本・読書で町おこし」などの地域ぐるみの読書活動をサポートしていく。

### ②「上野の森 親子フェスタ」の開催

「上野の森 親子ブックフェスタ2019」（5月3日～5日）を関係主催団体とともに、運営委員会を組織して開催する。

### ③「書店大商談会」への協力

第五回「北海道書店大商談会」（9月4日、札幌市にて開催予定）、「BOOK EXPO 2018」（11月7日、大阪市にて開催予定）、第九回「書店大商談会」（平成31年2月6日、文京区にて開催予定）の事務局として協力。

### ④東日本大震災復興協力事業

JPICとして、継続的に東日本大震災の支援活動を実施する。

## 5. 受託事業・業務等

### ①各社・団体の読書普及事業への協力

「講談社全国訪問おはなし隊」など、団体・企業の読書推進への協力、各種催事での図書販売 など。

### ②「スミセイおはなしひろば」への協力

平成24年度に全国一巡を完了。2巡目、2地域／関東地区（埼玉県・神奈川県）での実施。

### ③朝日新聞 読書推進事業への協力

朝日新聞社が主催する「オーサー・ビジット」（今年度は6回開催）「地球教室」などに協力。

⑤第 52 回「造本装幀コンクール」への協力

日本書籍出版協会と日本印刷産業連合会が主催する「造本装幀コンクール」に協力する。

⑥生命保険協会「読みきかせによる“家族のきずな”推進事業」への協力

生命保険協会公益事業「読みきかせによる“家族のきずな”推進事業」の新たな 3 ヶ年計画の 2 年目として、読みきかせ講習会の開催に加え、「家族で楽しむ絵本とあそび」の配布等、読みきかせボランティアの支援を続ける。

⑦「21 世紀活字文化推進プロジェクト」協力

読売新聞社が主管する「21 世紀活字文化プロジェクト」に協力する。大学生を中心とした、青年層への活字文化推進活動で協力を検討。

⑧内閣府平成 30 年度国際広報「JAPAN LIBRARY」への協力

26 年度に開始した、＜日本の魅力発信に資する書籍の翻訳出版事業＞に協力する。今年度は 20 タイトル程度を発行予定。

収支予算書1

収支予算書2

収支予算書3

収支予算書4

定 款

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、一般財団法人出版文化産業振興財団（英文名 Japan Publishing Industry Foundation for Culture。略称「JPIC」）と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。

2 この法人は、理事会の決議によって従たる事務所を必要な地に置くことができる。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進、出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究、人材育成、情報の収集及び提供等を行うことにより同産業の振興を図るとともに、読書活動の推進をはかることにより、我が国経済社会の健全な発展・国民の生活文化の向上・青少年の健全育成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 出版文化産業及び読書活動に係る生涯学習の推進
- (2) 出版文化産業及び読書活動に関する調査及び研究
- (3) 出版文化産業及び読書活動に関する人材育成
- (4) 出版文化産業及び読書活動に関する情報収集及び提供
- (5) 出版文化産業及び読書活動に関する内外関係機関等との交流及び協力
- (6) 前各号に掲げるもののほか、本財団の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、日本全国及び海外において行うものとする。

## 第3章 資産及び会計

(資産の構成)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を得なければならない。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事業報告及び決算)

第7条 事業報告書及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時評議員会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第5号までの書類については承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

2 前項の書類のほか、監査報告を主たる事務所に5年間備え置くとともに、定款を主たる事務所に備え置くものとする。

3 この法人は、剰余金の分配を行うことができない。

#### 第4章 評議員

(評議員)

第8条 この法人に評議員30名以上40名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第9条 評議員の選任及び解任は、評議員会の決議をもって行う。

(任期)

第10条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 第8条に定める評議員の員数が欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した評議員は、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員に対する報酬)

第11条 評議員の報酬は、無報酬とする。

#### 第5章 評議員会

(構成)

第12条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第13条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書の承認
- (4) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 この法人の評議員会は、定時評議員会及び臨時評議員会とする。定時評議員会は、毎事業年度の終了後3ヶ月以内に開催し、臨時評議員会は、必要に応じて開催する。

(召集)

第15条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が召集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第16条 評議員会の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、評議員（決議について特別の利害関係を有する評議員を除く。）の3分の2以上に当たる多数を持って行う。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

(決議の省略)

第17条 理事が、評議員会の目的である事項について提案した場合において、その提案について、議決に加わることのできる評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の評議員会の決議があ

ったものとみなす。

(報告の省略)

第18条 理事が、評議員の全員に対し、評議員会に報告すべき事項を通知した場合において、その事項を評議員会に報告することを要しないことについて、評議員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その事項の評議員会への報告があったものとみなす。

(議事録)

第19条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成し、議長並びに出席評議員及び理事の各1名がこれに記名押印するものとする。

## 第6章 役員等

(役員)

第20条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上30名以内
  - (2) 監事 3名以内
- 2 理事のうち1名を理事長とし、4名を副理事長、1名を専務理事、6名を常務理事とし、2名以内を業務執行理事とすることができる。
- 3 前項の理事長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とする。

(役員を選任)

第21条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長及び、副理事長、専務理事、常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第1項第2号に定める業務執行理事は理事会の決議によって理事の中から選定し、うち1名は専務理事とする。

(理事の職務及び権限)

第22条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、この法人を代表し、法人の業務を執行し、専務理事及びその他の業務執行理事は、理事会において別の定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及びその他の業務執行理事は、毎事業年度に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第 23 条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第 24 条 理事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了するときまでとする。
- 4 理事又は監事は、第 20 条に定める定数に足りなくなるときは、辞任又は任期満了後においても、新たに選任された者が就任するまでは、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員改選)

- 第 25 条 理事及び監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(報酬等)

- 第 26 条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

(役員損害賠償責任の免除)

- 第 27 条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 198 条において準用する同法第 114 条第 1 項の規定により、理事又は監事が任務を怠ったことによる損害賠償責任を、法令に規定する額を限度として理事会の決議により免除することができる。

(外部役員責任限定契約)

- 第 28 条 この法人は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 198 条において準用する同法第 115 条第 1 項の規定により、外部理事又は外部監事との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任の限定契約を締結することができる。
- なお、責任の限度額は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 198 条において準用する同法第 113 条第 1 項の規定による最低責任限度額とする。

(顧問)

- 第 29 条 この法人に、顧問 5 人以内を置くことができる。
- 2 顧問は、学識経験者又はこの法人に功労のあった者のうちから、理事会の推薦により、理事長が委嘱する。また解任については理事会において決議する。
- 3 顧問は、この法人の運営に関して理事長の諮問に答え、又は理事長に対して意見を述べる。
- 4 顧問の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 5 顧問の報酬は無償とする。
- 6 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

## 第 7 章 理事会

(構成)

- 第 30 条 理事会は、すべての理事で構成する。

(権限)

- 第 31 条 理事会は、次に掲げる職務を行う。
- (1) この法人の業務執行の決定
  - (2) 理事の職務の執行の監督
  - (3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(召集)

- 第 32 条 理事会は、理事長が招集する。
- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。
- 3 理事会を招集する者は、理事会の日時、場所、目的、その他必要な事項を記載した書面をもって、理事会の日の 1 週間前までに、各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。
- 4 前項の規定にかかわらず、理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、召集の手続きを経ることなく開催することができる。

(議長)

- 第 33 条 理事会の議長は、理事長とする。

(決議)

- 第 34 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条の要件を満たしたときは、理事会の決議があ

ったものとみなす。

(決議の省略)

第 35 条 理事が、理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、その提案について、議決に加わることのできる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなすものとする。ただし、監事が異議を述べたときは、その限りではない。

(報告の省略)

第 36 条 理事又は監事が理事及び監事の全員に対し、理事会に報告すべき事項を通知した場合においては、その事項を理事会に報告することを要しない。  
2 前項の規定は、第 22 条第 3 項の規定による報告には適用しない。

(議事録)

第 37 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。  
2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

## 第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 38 条 この法人は、評議員会の決議によって定款を変更することができる。  
2 前項の規定は、この定款の第 3 条、第 4 条及び第 9 条についても適用する。

(解 散)

第 39 条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由により解散する。  
2 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 5 条第 17 号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第 9 章 公告の方法

(公告の方法)

第 40 条 この法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法とする。

## 第 10 章 事務局

(事務局)

第 41 条 この法人に事務局を置く。事務局の組織及び運営に関して必要な事項は理事会で定める。

## 第 11 章 雑 則

(委 任)

第 42 条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第 1 項において読み替えて準用する同法第 106 条第 1 項に定める特例民法法人の解散の登記と一般法人の設立の登記を行ったときは、第 6 条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の設立当初の事業年度は、第 6 条の規定にかかわらず、この法人の成立の日から平成 25 年 3 月 31 日までとする。
- 4 この法人の最初の理事長は肥田美代子とする。
- 5 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

|       |       |      |
|-------|-------|------|
| 秋田貞美  | 坂井宏先  | 江崎直利 |
| 柳楽節雄  | 斎藤健司  | 田江泰彦 |
| 井上一夫  | 齊藤隆巳  | 片岡 隆 |
| 今村正樹  | 伊藤 聡  | 小泉忠男 |
| 関谷幸一  | 谷川直人  | 亀井忠雄 |
| 高納勝寿  | 加藤真由美 | 石川博史 |
| 清水康史  | 金田 徹  | 北島義斉 |
| 増田義和  | 岩本幸子  | 大湊 満 |
| 大塚 茂  | 和田年正  | 濱田博信 |
| 鈴木一行  | 森岡忠弘  |      |
| 鹿谷史明  | 外山義朗  |      |
| 岩渕 徹  | 山去賢二  |      |
| 溝口明秀  | 土屋正三  |      |
| 伊藤富士男 | 川島孝文  |      |
| 大橋一弘  | 筒井正博  |      |

禁無断転載

平成 30 年 6 月

発 行 一般財団法人 出版文化産業振興財団  
東京都千代田区神田神保町 3 丁目 12 番地 3

電 話 03 (5211) 7282

印 刷 太陽印刷工業株式会社